

### 3 ASEAN+3バイオマスエネルギーフォーラム等開催事業(新規)

【97(0)百万円】

#### 対策のポイント

ASEAN+3バイオマスエネルギーフォーラム及びGBEP会合・ワークショップの日本開催により、東アジア諸国における食料供給と両立するバイオマス利活用の浸透を推進します。

#### <背景/課題>

- ・ ASEAN+3(日・中・韓)バイオマスエネルギーフォーラムは、ASEAN+3諸国におけるバイオマスエネルギーの開発と利用を促進するための情報交換と、技術協力のプラットフォームの確立を目的に設置。
- ・ また、GBEP(国際バイオマスエネルギーパートナーシップ)会合は、バイオマスエネルギーの持続的発展を図ることを目的とした国際的なパートナーシップとして設立。
- ・ ASEAN+3諸国を始めとする東アジア諸国から、食料供給と両立する高いバイオマス利活用技術力とバイオマスタウンなどの地域利用システムの構築実績がある我が国での開催に強い要請。
- ・ バイオマスエネルギーの生産利用の急速な拡大が予想される東アジア諸国において、食料安全保障の確保と整合のとれたバイオマス利活用の重要性の認識を浸透することが重要。

#### 政策目標

東アジア諸国における食料供給と両立するバイオマス利活用の考え方の浸透

#### <主な内容>

##### 1. ASEAN+3バイオマスエネルギーフォーラム

ASEAN+3(日本・韓国・中国)におけるバイオマスエネルギーの開発と利用を促進するため、東アジア諸国の関心の高いバイオマスタウン構想の普及に向けた調査、検討を行うとともに、バイオマスエネルギーに関する情報交換と技術協力に関するフォーラムを開催します。

##### 2. GBEP(Global Bioenergy Partnership)会合等の開催

バイオマスエネルギーに係る温室効果ガスの排出削減や、持続性基準・指標に関する会合及び国際ワークショップを開催します。

<事業実施期間> 平成23年度

[お問い合わせ先:大臣官房環境バイオマス政策課(03-3502-8466(直))]

# ASEAN+3(日本・韓国・中国)バイオマスエネルギーフォーラム等開催事業(新規)

【97(0)百万円】

## ASEAN+3バイオマスエネルギーフォーラム

ASEAN+3諸国におけるバイオマスエネルギーの発展や利活用に関する情報交換や協力の強化を目的として、第7回AMAF+3(2007年11月、ベトナム)において中国の提案により設置。(過去3回は中国で開催)

## 国際バイオマスエネルギーパートナーシップ(GBEP)

2005年のグレンイーグルスサミットにおいて、G8+5(ブラジル、中国、インド、メキシコ、南アフリカ)首脳が[バイオエネルギーの持続的発展を図ることを目的](#)として立ち上げに合意し、[2006年5月に設立](#)。FAOに事務局を設置。

## 東アジア諸国のリーダー国のひとつとして、東アジア諸国に向けて...

- ◇ **食料供給と両立するバイオ燃料生産技術の取組みを強化・普及**(持続可能性指標の導入を促進)
- ◇ **我が国の最新バイオマス利活用技術をアピールし、輸出機会を創出**

### ASEAN+3バイオマスエネルギーフォーラム

#### フォーラムの開催

バイオマスエネルギーの開発と利用を促進する情報交換と技術協力を実施。



バイオマスタウン等の地域資源の高度利用システムの先進事例の視察を実施。



#### バイオマスの調査・分析

地域におけるバイオマス利活用の取組の可能性調査を実施(賦存量、現地ニーズの抽出、具体的利活用方法の検討・提案)



### 国際バイオマスエネルギーパートナーシップ

持続性の基準・指標等を各国へ浸透、改善を図る観点から国際ワークショップ及びGBEPの会合を開催

